講義名	人権問題論				
科目区分	教養一般				
担当教員	安本　博司				
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 ４時限				
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科／2018年度 人間社会学部 観光学科／2018年度 人間社会学部 人間社会学科／ 2018年度 経済学部 経済情報学科／2018年度 経済学部 経済学科／2018年度 商学部 マーケティング学科／ 2018年度 商学部 経営学科／2017年度 人間社会学部 人間健康学科／2017年度 人間社会学部 観光学科／ 2017年度 人間社会学部 人間社会学科／2017年度 経済学部 経済情報学科／2017年度 経済学部 経済学科／				
履修開始年次	２年生	単位数	2	講義コード	14019

主題と概要

【主題】生まれながらに持っている幸せに生きていくための権利について学ぶ。
【概要】人権問題に気づき、考え、行動できるようになることを目的とする。 授業はパワーポイントを使用した講義形式で進めながら、毎回自らの考えを「コミュニケーションカード」に記入し てもらう。各テーマについては、具体的に考察できるよう、動画、写真、新聞記事等を用いる。 授業開始時には、前回の授業の振り返りを行い、さらに議論を深めたうえで、次のテーマに移行する。 人権問題を他人事と捉えたり、思考停止に陥るのではなく、自分事して捉え、真剣に考察する習慣を身につけることがねらいである。

到達目標

①人権問題の変化や現状を、基礎的なデータや文献から理解できること。
②毎回授業の開始時、終了時に「コミュニケーションカード」を記入し、自らの考えを整理できること。
③期末レポートを通じ、人権問題について認識し、取り組みの方向を構想できること。

提出課題

・コミュニケーションカード（毎回）
・期末レポート

評価の基準

・コミュニケーションカード（毎回）　６０％　・・・　自分の考えを整理できているかどうか
・期末レポート　３０％　・・・　人権問題について認識し、取り組みの方向を構想できているかどうか
・授業参加状況　１０％　・・・　授業に 積極的に参加しているかどうか

履修にあたっての注意・助言他

講義中に、グループワーク、ディスカッション、課題などを、受講者どうしで協力して行う必要がある。

教科書

プリント資料及び参考文献

講義時に毎回資料を配布する。参考文献はテーマ毎に指示する。
＊ヒューマンライツ・ナウ編（2009）『人権で世界を変える30の方法』合同出版
＊辻村みよ子（2013）『人権をめぐる十五講――現代の難問に挑む』岩波書店

授業計画

テーマ　内容
１．オリエンテーション：授業の内容、進め方、評価方法、人権について
２．高齢者と人権　：高齢者への虐待を例に考える
３．障がい者と人権：優性思想について考える
４．子どもと人権：「権利の主体」である子どもと虐待について考える
５．ホームレスと人権：自立と支援について考える
６．ジェンダーと人権：性別二元制と固定的性別役割分担意識について考える
７．セクシャルマイノリティと人権：多様な性のあり方を理解し「普通」を問い直す
８．犯罪被害者と人権：被害に遭った方への接し方について考える
９．部落と人権：部落問題の今を考える
10．アイヌ・沖縄と人権：現状、どのような問題が存在しているのか、アイデンティティをキーワードに考える
11．外国人と人権：在日外国人の労働問題について考える
12．在日コリアンと人権：在日コリアンの歴史を学び、様々な人権侵害の例をとりあげ、在日の日本社会での位置づけを理解する
13．ヘイトスピーチと人権：表現の自由とは何かについて考える
14．災害と人権：「災害弱者」への気付きとトラウマ・ケアについて考える
15．戦争と人権：平和と安全に生きる権利と人種・植民地主義・移民について考える

予習・復習

授業で配布した資料を読むこと。また、授業中に指示した文献を読むこと。人権問題に関連したニュース、映画、マンガ、ドラマ、動画等についての情報収集に努め、授業内で記入する「コミュニケーションカード」に盛り込む準備をしておくこと。わからないことを質問できるようにしておくこと。

備考

授業日数の３分の１以上欠席した者、レポート未提出者は評価の対象としません。